

消防だより

No.66



火の用心

Tokamachi Fire Department

平成21年12月25日

毎日のように聞こえる救急車のサイレンの音…

十日町圏域の救急事情はどのような体制となっているのか？

高まる救急需要、高度な救急サービスの提供は待ったなし。

地域をとりまく「十日町圏域の救急のいま」をお伝えします。

写真) 真夜中の静けさの中、車庫を飛び出していく救急車。

特集

十日町圏域の救急のいま。



災害現場への医師派遣

【十日町方式】ドクターカー運用から1年

昨年、平成20年10月27日、新潟県立十日町病院と十日町地域広域事務組合消防本部とで交わした救急業務に関する協定、いわゆる「ドクターカー」運用から1年が経過。この1年間を振り返り、また、圏域を取り巻く救急のいまを、現場を預かる3人に聞きました。

Interview

山口 征吾 Dr. Seigo Yamaguchi
十日町病院内科部長、ドクターカー乗務医師



「**十日町方式**」ドクターカーシステム
ドクターカーとは、一般的に医師を含めた医療スタッフが病院外の救急現場に向かい活動するシステムのこと。国内のドクターカー運用は、主に大都市の救命救急センターで始まったが、人口100万人クラスでしか採算は取れないとされ、二次医療機関の十日町病院ではそれは難しいと考えられてきた。

そこで、24時間、365日対応はできないが、できる限りの救命救急活動を目指そうと協定を結び運用を始めたのが、十日町方式ドクターカーシステム。通常は病院に救急車を配置する方式だが、「十日町方式」では通報内容、現場の指揮者が判断した場合などに限って要請し、医師が受診したときに初めて「**出動**」となる。県内で他にドクターカーを運用しているのは、新潟市民病院（救命救急センター）のみであり、県内でも先進的な試みといえる。

「この1年間での出動は25件と聞きました。吉澤 災害現場に早期の医療投入を目的に今年の1月15日から運用を開始しました。「ドクターブルー要請」と冒頭に付して、十日町病院医師に出動を要請することから、私

「この1年間での苦勞話を聞かせてください。これは「ドクターカー運用」を「ドクターブルー」と呼んでいます。この1年間での出動で、心肺停止した傷病者の心拍再開や重症外傷の処置を救急車内で早い段階で行うことができました。電話が来たことがありますね。その時はお断りして、「すぐに連れてきてください」とお願いしました。1年間やってみて、ドクター（以下Dr）が出た方がいい場合と、Drが出てあまり役に立たないなどという場合が少し分かるようになってきました。現在は、ある程度内容を聞いたうえで線引きをしています。24時間365日スタンバイ方式だと、出動の空振りを恐れず出ることがありますが、ちよつと今の状態ではうちは難しいですね。しかし、県内では、新潟市民病院とうちだけですから、非常に大きな一歩であったなと思っています。【課題と対策】山口 少し前だと救急隊は「患者を搬送するま



吉澤 勇 Isamu Yoshizawa
十日町地域消防署長

に積極的に参加してくれています。そこが随分変わってきたなと感じています。病院が外に出ていく、救急隊が中に入って処置を手伝うといった「クロス」するような関係は、数年前まで考えられなかったことですね。ドクターカー出動に対しての院内での体制づくりなどがあつたら教えてください。

山口 体制作りに関しては、いま行動をおこしているところですが、すぐにはできることではありませんし、現実、まだ始めて1年ですからね。人材を育てていくことに関しても、ちよつと時間が必要と思っています。それと、どうしても出動すると、病院が手薄になってしまう点の問題かなと思っています。

吉澤 消防もドクターカー専門員がいつもいるわけではないですね。現場隊員は既に出動していますので、残った隊員の中から指名して出動させているのが現状です。119番通報時点で全て情報把握ができないこともあつて、どうしても現場到着後にDr要請となるケースが多いのも事実です。少しでも迅速な要請ができるよう、更なる体制を強化していきたいと思っています。

山口 そうですね。県内でこういったアクションをおこしているのは十日町だけですので、やっている事自体が非常に素晴らしいことだと思っています。

県内の病院の先生が、「十日町がやれているのに、なんでウチはできないんだ」とヤキモキしている話は聞きますね。

吉澤 小松原湿原や、信越トレイルでの合同訓練、市の防災訓練など、結構定期的に実施しています。ただやるだけでなく、その後の反省会・検討会で顔の見える関係が深まるのが大規模災害時に特に重要だと思います。

山口 災害が大規模化すれば消防との連携は不可欠ですね。今回の合同訓練は非常に困難な想定でした。あえて極限の状況を作り出したので、予想通りに行かなくて当然です。こういう訓練は、失敗して初めて成果が出るものなので、今後とも一緒にお願したいと思っています。

*

▼十日町病院はこの9月に厚生労働大臣賞を受賞するなど、災害医療、救急医療に大変力を注いでいます。私たち消防も、医療機関と連携した高度な救急サービスを住民のみなさんに提供していきたいと思っています。

山口Drには、取材中も急患が入る忙しい中ご協力いただき、ありがとうございました。（電

※1【JPTC】病院前外傷教育プログラム

※2【CLS】医療従事者のための蘇生トレーニングコース



小川 睦 Atsushi Ogawa
消防署救急隊長、救急救命士

小川 十日町病院には十日町消防の救急出動における約7割以上を受け入れていただき、大変助かっています。この受け入れ体制の充実には、住民の安心感だと、救急現場で日々肌で感じているところです。搬送先が決まらず、現場での滞在時間が長くなると必然的に消防署へ戻るのも遅れ、その間に別の出動があつたりする悪循環だけは避けたいと思っています。

3つ目は検証体制。実際に活動したことについて振り返る事後検証を実施しています。心肺

停止・重症外傷の案件について山口Drから「指導医」として、数多く検証していただいています。さらに、それを検証会という場でほかの病院にも公開しており、これも救命士の教育の一環となっております。

山口 後日、出動検証票を書面で評価するのですが、大部分が私が現場に行つて

消防法の一部が10月30日に、「傷病者の搬送及び受入れの迅速かつ適切な実施を図ること」と改正されました。救急救命士制度が平成3年から始まり、「現場に医療を」という概念が入り現在に至るわけですが、今回の法改正を機に病院との関係がより深くなることを期待しています。

今、救急救命士の体制を維持して行くうえで重要なことが3つあります。

1つは目は、Drから指示を仰ぐシステム作り。救急救命士は救急現場で直接電話で指示を仰がなければならぬため、「ホットライン」という専用電話を活用しています。現在、十日町病院内に設置し、24時間365日指示を仰げるようになっています。救急救命士にとって非常に助かっていますし、住民サービスにも直結していることでもあります。

2つ目は、教育。救命士には「病院実習」「再教育」といわれる質を落とさないための教育が課せられています。さらには、JPTC、ICLSといった標準化プログラムも必須項目とされています。



数値でみる十日町消防の救急	
救急自動車	7台 (うち高規格救急車3台、非常用救急車1台) 十日町地域消防署×3 西分署×1 松代分遣所×1 南分署×1 松之山分遣所×1
出場総件数	2,514件 (平成20年中) 十日町市2,074件、津南町422件、管轄外18件
搬送人員	2,394人 (平成20年中) 男性1,298人、女性1,096人
事故種別トップ3	急病 1,319件 (53%) 転院搬送 421件 (17%) 一般負傷 421件 (17%)
救急隊員有資格者数	96人 / 116人
うち救急救命士有資格者	16人 (平成21年10月1日)

救急車はどこから来るの?

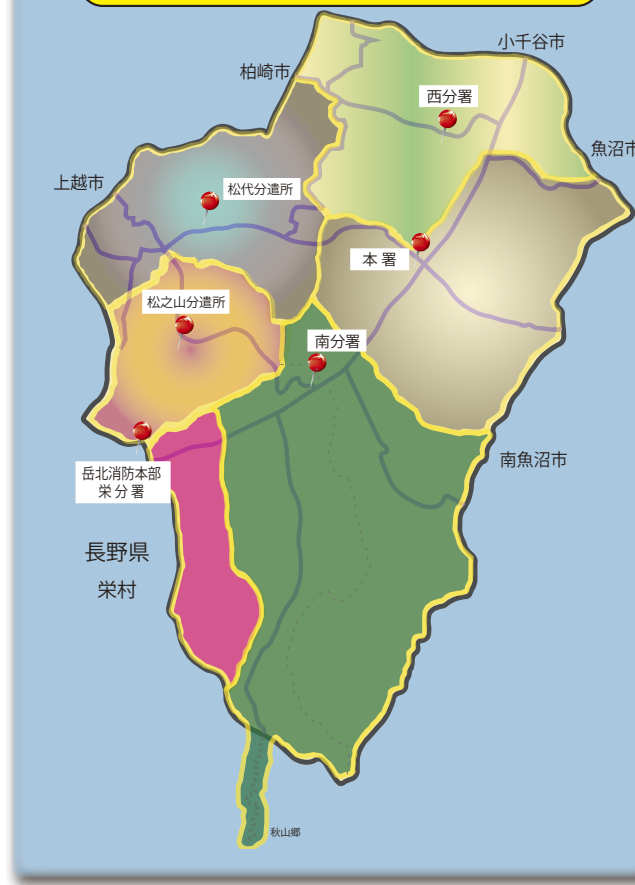
まず、救急車は省令でおおむね人口3万人ごとに1台を基準としており、当地域では、3台が基準台数となります。しかし、山間地・豪雪地の中での3台運用は事実上困難なため、「地域の特性による配置」でもう3台を加えた6台で、現在運用しています。そのほか、救急車が点検や故障したときや、大規模災害用に「非常用救急車」が1台あります。

本署は、管轄人口が多いため、2台の救急車を配置し、十日町地域に主に出勤しています。西分署は、川西地域全域と下条地区、吉田地区。松代・松之山分遣所はそれぞれの地域に出勤をしています。

南分署は少し特殊。中里地域全域と、津南町の大部分、なんと、長野県栄村の秋山郷地区まで出勤します。これは長野県の北消防本部と相互の応援協定を結んでいるため、津南町上郷地区は、岳北消防本部栄分署の救急車が出勤します。

しかし、その管轄エリアの救急車が出勤しているときにも救急要請は入ります。通信指令室では、消防車両の状態を全て把握しており、待機している車両・最寄の車両を速やかに向かわせます。最近では、救急出勤が重なったときや、到着するまでに時間を要する場合は、消防隊員が救急車よりも先行して出勤するというケースも出てきています。

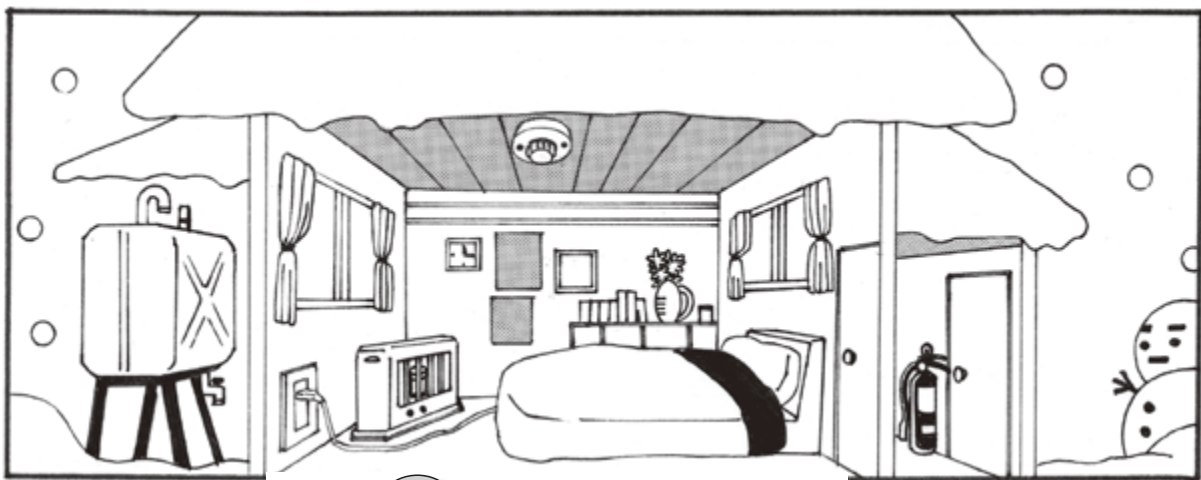
救急出場エリアMAP



Let's TRY
間違いさがして
気をつける
住宅の
危険な要素

冬はこんなに
危険がいっぱい!

作:十日町市消防団
女性部 阿部正子さん



まちがいさがし
全部で7個見つけられるかな?
※答えは下段にあります



救急救命士の ワンポイント救急メモ

冬になると発生しやすくなるお風呂場での事故に対して、注意してもらいたいことがあります。

気温などの変化が激しくなると、それと同時に体の中の血管も縮んだり、広がるなど変化し、これが引き金となって意識障害や脳卒中、心筋梗塞を起こす可能性があります。

- ここで!** 【お風呂場での事故を防ぐポイント】
- 脱衣場や浴室も暖かく → 部屋との温度変化をなくす
 - 飲酒したら入浴を控える → 飲酒後には血圧が低下しやすい
 - お風呂から立ち上がる時はゆっくりと → 急激に立ち上がると血圧が低下します
 - 高温の湯(42℃以上)の入浴は要注意です → 意識障害が起こる可能性があります

**本格的に寒くなるこの時期からお風呂場で
の事故が多発します。入浴中の家族
に小まめに声を掛け合い、事故を防ぎましょう!**

お知らせ

2010年

1月 10日(日) 十日町市・津南町 消防出初式	2月 7日(日) 普通救命講習定期開催 (松之山自然休養センター)
26日(火) 文化財防火デー	下旬 十日町市冬季防災訓練

- まちがいさがし 答え&ヒント:** 左から
1. 灯油の小出し中は離れないようにしましょう
 2. タコ足配線は発火の元! コンセントのほこりにも注意
 3. ストープの上には衣類を干さない
 4. 寝室に住宅用火災警報器を設置していますか? (平成23年6月1日から既存住宅設置義務化)
 5. 寝タバコはしない(ベッドの上に灰皿)
 6. 消火器はありますか? 錆びていませんか?
 7. 雪などで避難口を塞いでいませんか?

119番通報から病院まで



機動力

小型動力ポンプ付車
消防自動車
(軽積載車)

寄贈



日本損害保険協会から寄贈を受けた軽積載車

このたび、(社)日本損害保険協会(以下、損保協会)から小型動力ポンプ付軽積載車の寄贈を受け、津南町消防団第4分団3部1班(相吉)に12月24日付けで配備しました。

この事業は、地域の消防力を強化し、安全で安心なまちづくりに貢献するという、損害保険の社会的使命の観点から毎年行っており、今年も全国23市区町村、離島12市町村に対して寄贈が行われました。

この軽積載車は、小回りが効き、機動性に優れ、特に林野火災の消火活動に非常に有効な車両です。林野火災の発生場所の多くは現場まで道幅も狭く、大型の消防車両での通行は困難であるため、大変貴重な存在であるといえます。



津南町消防団 第4分団

分団長 部長
| 滝沢満春 | × | 金子正規 |
さん さん

配備された地元、第4分団の滝沢分団長と金子部長にお話を伺いました。

「やはり、機動力を生かした予防活動に力を入れたい」と金子部長。「4分団区域はとても広いんです。おかげで今まで以上に集落の隅々まで予防広報ができます」と語ってくれました。

また、滝沢分団長は、「台車(手引きポンプ)での火災出動は、団員が4人揃わないと出動できない状況だったが、軽積載車が配備されたことで、火災時には迅速に出動できる。四輪駆動車なので、小道や急勾配、積雪時でも支障なく走行できることが大きい。軽積載車は林野火災時にも大きな武器。可搬式散水装置など必要な資機材を積載でき、4人同時に出動できるため、有効な消火活動ができる。しかし、台車から軽積載車に変わること、出動範囲の拡大、車両運用など新たなプレッシャーはある。団員と力を合わせて積極的な消防団活動に努めていく」と力強く語ってくれました。

あなたの家は 大丈夫? 消火器

老朽化

老朽化した消火器の破裂による人身事故が発生しています。消火器は消火薬剤を強力で放射するために、使用時には本体に強い圧力がかかります。このため、本体に錆による腐食やキズ、変形のあるものは、その部分が圧力に耐えられず、破裂する危険性があります。

■次のことに注意して下さい

- ① 水のかかる場所、湿気のある場所に設置しない
 - ② 直接地面等に設置しない
 - ③ 時々自主点検し、錆やキズがないか確認
 - ④ 錆、キズなどのある消火器は絶対に使用せず、「ゴミ」として捨てたり、放置しない
 - ⑤ 不良・不要消火器は、購入販売店などに相談し、適切に処分する
- 注) 消防署では消火器の回収は行いません
一般ゴミの収集には出してはいけません

■自主点検のポイント

- ① 安全栓が確実に装着されているか
- ② 本体やキャップ、レバーに変形や錆、腐食はないか
- ③ ホースにひび割れやゆるみがないか
- ④ 圧力計がついているものは、その圧力値を示す針が正常値を指しているか



破裂事故をおこした消火器

問合せ先

十日町地域消防本部予防課
TEL 025・757・1557 (直通)



赤色灯

みなさんは外食や旅行、買い物などに
出掛けたとき、避難口を確認しますか?
職業柄、私は誘導灯の緑の光に必ず目が
いつてしまいます。

▼去る11月に発生した、韓国の射撃場火災、浜松市マージャン店火災、杉並区の雑居ビル火災は記憶に新しいところで
す。いずれも『避難経路』の問題が死傷
者を多数発生させる大きな要因となつた
ようです。また、杉並区の火災では、厨
房周囲の油污れや装飾品などが、延焼を
拡大させたとも見られています。

▼きれいな好きは私は、年末の大掃除は絶
対、厨房と決めています。我が家からは
絶対に火を出さぬよう、1年分の油污れ
を落とすようにしています。

安全・安心な明るい新年を迎えられる
よう、厨房の大掃除をし、外出先では進
んで**避難マー君**(誘導灯)を見つけ、『避
難経路の確認』を心がけましょう。



※『避難マー君』は個人的な名づけであり、正式には「誘導灯」という消防用設備等です。